

第27回

(通算3573回) 例会
令和6年2月8日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

インターアクト卒業生を送る会

インターアクト委員会 担当



2023-24 RI テーマ・世界に希望を生み出そう

2月 平和構築と紛争予防月間



上段左から 長屋麻衣子 I A委員長、鈴木日菜乃さん、小濱優芽さん、
永田淳菜さん、村上知恵美さん、山川颯月さん、藤村日向乃さん
下段左から 西尾空飢 I A C副会長、船戸純子教頭、福井敬会長、
大塩啓太郎地区 I A委員長、石野淑美先生

会長挨拶

福井 敬 会長

I A Cの皆さまは、成人として新しい環境に飛び出すことに希望や期待も膨らみますが、不安も同時にあると思います。そんな不安な気持ちを払拭するためには、新たな環境の下で目標を立てることが良いと思います。しかし、目標を達成するには当然努力が必要だと思えます。この努力はどうすればできるのでしょうか。陸上選手の為末大氏は「義務は無邪気には勝てず、努力は夢中に勝てない」と言っています。これは「やりたいからやる」「やりたくなかったらやらない」という自分の中の子供の部分否定せず「ここはちょっと頑張って明日遊ぼう」と飴と鞭を使って自分の中を育てることが大切という意味だと思えます。インターアクトの皆さんは、4月からの新しい環境の中で楽しいことばかりではないかもしれませんが、しかし、何でも本気で取り組んでいるうちに夢中になり、第三者から努力をしていると認めもらえるようになればいいなと思えます。

I A委員長挨拶

長屋 麻衣子 I A委員長

奉仕の心とは、見返りを求めない奉仕の精神です。この精神は、自分自身の生き方が幸せなものとなり、満ち足りた人生に導いてくれます。皆さまも3年間の活動を通じて奉仕の心を学び、誰かの役に立つという満たされた気持ちを感じ取れる機会が多くあったのではないのでしょうか。4月から社会人として活躍される皆さまには、I A Cで学んだ奉仕の精神を心掛けて充実した日々を送っていただきたいと願っています。

地区 I A委員長挨拶

大塩 啓太郎 地区 I A委員長

卒業を迎えるI A Cの皆さまは、昨年5月までのコロナ禍の2年間とその後の1年間、悩みながらも若さや粘り強い発想、逞しさを活かして出来る奉仕活動を楽しみながら行われており、私自身も多くの刺激をいただきました。皆さまがI A Cで学んだ積極性やチャ

レンジ精神は、社会で必ず役に立ちます。これからは、学業や仕事でI A Cで学んだことを活かしていただければと思います。

豊橋商業高校教頭挨拶

船戸 純子 教頭

本校では、コロナ前の日常を取り戻すべく、豊橋商業だから出来ること、感動溢れる学校作りを目指して新しいことに取り組んできました。具体的には、陸上競技場での体育大会の開催、文化祭でのキッチンカーの招へい、全ての教室の一般公開、購買でのQRコード決済の導入、ドローンを使つてのプログラミングの学習、チャットGPTの導入等です。こんな話を外部の方にすると「学校の規律は乱れたりしませんか」とご心配いただくことがありますが、私達は自分で考えて行動できる生徒を育てていきたいと考えています。言われたことしか出来ない状態だと、これからの社会に取り残されてしまいます。予測困難な時代を生き抜く生徒を育てる使命の下、私達も変わらなければならないと思っています。私達が様々なことに真正面から向き合い、チャレンジする姿を見せることで、生徒自身の学習意欲や自主性を伸ばしていき、最終的にリーダーの育成に繋がるのではないかと考えています。私達学校は、これからも生徒が安心して成長できる場を提供し続けていきたいと思えます。

I A C 会長挨拶

酒井 幸夏 I A C 会長

入部した当初はコロナ禍ということもあり、多くの活動が制限されてきました。「不要不急の行動を自粛して」というアナウンスを多く聞き「困っている人達に手を差し伸べるボランティア活動は不要不急なのか」とジレンマに陥ったこともあります。それでも徐々に活動が出来るようになり、かけがえのない経験になりました。募金活動では、人々の優しさや温かさを直に感じる事が出来ました。募金を呼びかけるという立場に立ったことで、改めて募金の大切さや、そ

の意義など多くのことを学ぶ良い機会となりました。寄付を募り、善意が社会へ広がる様子を見ることができ、心温まる経験でした。他にも沢山の活動を通じて知識を深め、スキルを向上させることができ、自分の成長だけでなく、社会に対する責任感や思いやりを養う機会にもなりました。そして、人々の笑顔や言葉が何より嬉しいものだと感じさせられました。また、協力することの大切さやチームワークの力を改めて知ることができました。仲間達と協力し合うことで初めて成し遂げられることが沢山あり、お互いに支え合い、成功を共有できたことは大きな成長の糧となりました。同じ目的を持つ仲間が居るIACに入部して、本当に良かったと思います。

私達3年生はもうすぐ卒業です。仲間と別れる寂しさを感じつつも、これまでの部活動で培った経験を胸に新たな一步を踏み出していきます。IACで学んだことは、どの分野に進んでも必ず活かされると思います。これからも学んだことを大切に、少しでも社会の課題に貢献できる人になりたいです。

(西尾空凱 IAC副会長 代読)

IAC卒業生挨拶と進路報告 IAC卒業生の皆さん

7名の本年度卒業生が西尾空凱 IAC副会長挨拶に続いて、進路報告並びに活動で得たものをそれぞれ発表していただきました。

IAC顧問挨拶 石野淑美 IAC顧問

本日はIAC3年生のために、この様な時間を設けていただき、ありがとうございます。これで3年生も無事に卒業していきます。3年生の部活動は自由登録ですが、全員が再び登録してくれてインターアクターとして活動してくれたことが一番嬉しかったです。今後ともご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

「ロータリーの友」読みどころ紹介 村井總一郎 会員



横組み16頁からは、千玄室さんが100歳を迎えたという内容の記事が掲載されています。私も何度かお会いしましたが、大変元気な方です。特に18頁には、ロータリーはご飯を食べてお話しするだけでなく、自分を磨く場所であり、心を磨き、絆を持ち、皆で手を繋ぐというロータリーの良さが書かれていますので、是非ご一読ください。縦組4頁からは河村晴久さんの能についての記事が掲載されています。海外の役者は能の技法を伝えようとする時、感情を精一杯表現しようとするので、何もしないで表現するという技法が一番難しいようです。また、まとめとして「次世代へ伝える能の力」という段落があります。河村さんの考え方が書かれており、私の大変好きな所でしたので是非ご一読いただきたいと思います。

ニコニコBOX

佐藤 裕彦 ニコニコ委員

- インターアクトの皆さん、ようこそ。ご卒業おめでとうございます 福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 本日は例会を担当させていただきます。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます 長屋 麻衣子 IAC委員長
- インターアクターの皆さん、ご卒業おめでとうございます。永田さん、小濱さん、おめでとうございます。船戸教頭先生、顧問の石野先生、ようこそ。IAC活動では大変お世話になっております 大塩 啓太郎 地区IAC委員長
- 本日、ロータリーの友の読みどころを紹介させていただきます 村井 總一郎 PG
- 2760地区のホームページに、地区補助金を活用したチェンライ県ラックペンディング村奉仕事業の報告が掲載されました。ご協力いただきました皆様に感謝いたします 井上 泰宏 国際奉仕委員長
- 一昨日、豊橋北RCで卓話をさせていただきました。少し緊張しましたが、豊橋RCで話すよりは少し気が楽でした 西田 元彦 会員
- 弊社が豊橋商工会議所の機関誌「ニューボイス」に取り上げていただきました。まもなく創立100周年を迎えます。今後ともよろしくお願い申し上げます 小笠原 敏彦 会員
- このたび三菱UFJ銀行の地域貢献制度を活用し、東三河の就農支援を行い、東愛知新聞に掲載されました。また、このほか能登の震災でも課題となったベットの同行避難に役立ててもらおう、ケージ52台を松山小学校に寄贈し、東日新聞に掲載されました。今後とも微力ながら地域に役立つ活動を行って参ります 近藤 崇 会員 (順不同)

本日のゲスト

豊橋商業高校 船戸 純子 教頭
石野 淑美 IAC顧問
IAC生徒 7名

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. ロータリー誌が届いています。
2. 例会終了後、4階グリーンルームにてアッセンブリーを開催します。

歌 ソングリーダー 宮本 順子 会員 / IAC 永田 淳菜 さん



「手のひらを太陽に」
「インターアクトの歌」

誕生祝い



神野 紀郎 会員
(S.12年2月11日生)

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者 69名 計算会員数 95名中26名欠席
総会員数 110名 出席率 72.63%

例会予定

2月15日(木) 年男放談②
2月22日(木) 休会